



高浜市

Takahama City Official Web Site

思いやり 支え合い
手と手をつなぐ 大家族たかはま

資料2

前回の議論を踏まえた対応等

第6回 高浜市子ども貧困対策会議資料

高浜市役所福祉部地域福祉グループ

平成31年2月18日(月)

第5回会議における主な意見等

(1)進路指導に関すること(ステップ)

- ・ 高校等への進学をゴールとせずに、自立に至るまでの支援が必要。
- ・ 進路指導について、学校と連携して適切な進路先に着地させるための支援を行う必要がある。

(2)生徒の情報共有に関すること

- ・ 保護者との情報共有について、引き続き検討する必要がある。

(3)学習支援事業(ステップ・ジュニア)に関すること

- ・ 事業統合後の進捗状況を説明して欲しい。

1. 進路指導について(ステップ)

1. 検討の背景

- 平成27年7月に始まった学習支援事業も4年目を迎え、卒業年次を迎える生徒も増えてきた。
- 不登校や基礎学力の不足（語学力を含む）により、学校の授業についていけない生徒が増えており、今後も増加していくことが予想される。

前回意見

- ① 過去の利用者への追跡調査をすることで、この事業の真価が分かる。
- ② 貧困の連鎖を防止するためには、学習支援だけでなく適切な進路に着地させることが重要。

2. 検討を踏まえて実施したこと及び今後の課題

- 追跡調査について
現在、調査を実施中。
→ 次回会議で、調査結果を報告する予定。
 - 進路について
進路調査及び相談を行い、希望者にキャリアカウンセリングを行う等、希望する進路に進むための支援を実施。
〔2月12日時点の状況〕
中学3年生：15人 15人全員進学を希望
高校3年生：18人 うち進路確定13人〔進学7人、就職6人〕、未決5人
- 【課題】
支援体制の確立及び、希望する進路を具体的にイメージするための講座等の実施。

2. 生徒の情報共有のための仕組みの構築について

1. 検討の背景

- 子どもたちの「健やかな成長」を育むためには、ステップ及びステップ・ジュニアだけでなく、学校や家庭とも連携を密にし、必要な情報を相互に共有していく必要がある。

前
回
意
見

- ① 保護者との情報共有について、引き続き検討が必要。
- ② 地域とのつながりも重要。

2. 検討を踏まえて実施したこと及び今後の課題

① [ステップ・ジュニアについて]

- ・三者面談を実施中。（2月12日時点で4人の面談が終了）。
- ・ステップでの様子等を伝え、家庭における生活状況等を聴取。
- ・帰りの迎え時等に、必要な情報を連絡・共有しており、気軽に立ち寄れる環境になりつつある。

[ステップについて]

- ・キャリアカウンセリングを実施しており、保護者も参加可能にしている。
（2月12日時点で、のべ7人の生徒に対して実施）

- ### ② 地域とのつながりについては、地域スタッフやボランティア、まちづくり協議会等、多くの大人たちとふれあう機会を設けており、引き続き連携して取り組んでいく（詳細は資料4参照）。

【課題】

ステップ・ジュニアについては家庭との連携がとれつつある。ステップについては引き続き検討。
（クリスマス感謝祭への招待は、子どもの拒否感が強かった。地域による見守り体制の強化等を検討）

3. 学習支援事業(ステップ・ステップJr)に関すること

1. 検討の背景

- 平成30年度から、小学4～6生のひとり親家庭に対する学習支援（旧：あすたか）を統合し、「ステップ・ジュニア」として事業を開始。
- 会場を翼小学校からいきいき広場に戻し、土曜日も開催し併せて送迎を実施する等、働く家庭が使いやすくなるよう、内容を変更した。

前
回
意
見

- ① 統合後、ほぼ1年が経過したので、進捗状況を報告して欲しい。

2. 検討を踏まえて実施したこと及び今後の課題

（詳細は資料3を参照）

- ① ・ひとり親だけでなく、生活困窮家庭（就学援助等）も対象にしたことから、支援範囲が広がった。
 - ・年間実施回数を大幅に増加（29年度71回 → 30年度106回（予定）し、これまでの週1回から週2回（夏季休暇中は3回）となり、併せて平日は19時まで実施する等、手厚い支援が可能となった。
 - ・帰りは保護者に迎えに来てもらうことで、保護者との情報共有がその都度できるようになった。
（現在、面談及びアンケートを実施中）

【課題】

- ・不登校や、集団行動が苦手な児童への対応。
- ・親との情報共有の強化に加え、学校に対しても宿題の提出状況を定期的に把握する等、児童の状況を適切に把握できるようにしていく。